



かなざわ

民児協だより

2019.12

第55号

金沢区役所 福祉保健課
横浜市金沢区泥亀 2-9-1
Tel. 788-7820

発行責任者 金沢区民生委員児童委員協議会 会長 沓澤 和子

一斉改選が行われました



令和元年（2019）12月1日、3年に一度の民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選があり、翌2日に金沢公会堂において委嘱式が行われました。今回は、249名（内、主任児童委員27名）が委嘱されました。男女の内訳は男性49名、女性200名となっています。また、区民児協会長・副会長、主任児童委員代表が選出されました。

金沢区民生委員児童委員協議会

会長 沓澤 和子
副会長 岡田 須美子
寺木 好子

金沢区主任児童委員連絡会

代表 魚谷 晶子

どうぞ宜しく

新会長 沓澤 和子

高齢、障がい、子ども等に係わる困り事の相談に応じて、関係機関へのつなぎ役として、地域の皆様に寄り添った身近な存在でありたいと思います。



お世話になりました

前会長 青木 伸一

皆様のおかげで、無事に2期6年間の会長職を全うする事が出来ましたことを御礼申し上げます。今後の皆様のご活躍を祈念しております。



退任感謝会が開かれました

今回70名の委員が退任されました。これまでの委員の労をねぎらい、『感謝会』が12月12日に金沢公会堂にて催されました。最も長期にかかわってくださった方は、9期27年間でした。お疲れ様でした。ありがとうございました。



「うけとめてつなぐ」各地区の事例

民生委員・児童委員は、皆様の地域の中で様々なご相談をお受けしています。
今回は、その中でいくつかの事例について、ご紹介します。

家の中のテレビを移動したい、庭の草とり、庭木の刈り込みなど、数年前までは自分で出来た事が、年々出来なくなって困っていると相談がありました。地域の中のボランティア団体の事を伝え、団体へ支援のお願いをしました。

作業日を調整し、数日後、作業が行われ高齢者の小さな困り事が解決しました。

ひとり暮らしで、歩行がスムーズにできないため、ゴミ出しが困難となってしまった方がいるとの相談を受けました。当初、地域のボランティア団体に連絡をし、一度は片付いたのですが、今後も継続的な対応が必要なことが分かりました。

そこで、地域ケアプラザに相談し、資源循環局の「ふれあい収集※」を利用する事となりました。

その後は、継続して支援を受けられており、ゴミ出しの悩みは解消したようです。

高齢で、足腰が弱くなったため、しばしば外出先で転倒し、近隣の方に助けてもらっている方がいるとの話を聞きました。その話を地域ケアプラザに伝え、一緒にご自宅を訪問しました。

お話を聞くと、かなりお困りだったことが分かり、介護保険の申請を行う事になりました。この訪問をきっかけに、介護保険を利用してのデイサービスや、住宅改修など、必要なサービスにつなげる事ができました。

配食サービスについての相談を受け、Aさんを訪問しました。腰の症状の悪化や、軽い熱中症の影響で、体調が思わしくありません。

また、人との関わりが減った事などから、認知症も急に進行したようです。地域ケアプラザに連絡し、ケアプラザから郷里の親戚に連絡を取りました。親戚の方は、ご本人の様子や室内の状況を見てひとり暮らしは困難になったと判断しました。

後日、準備が整って迎えに来た親戚の方と郷里に戻り、現地の施設へ入所したそうです。

地域のイベント時に、参加されているお母さまから、お子さんの「発育の遅れ」について、相談されました。お話をお聞きしたのですが、専門的な事項であったため、区役所こども家庭支援課に、相談をつなげました。

その後、こども家庭支援課から、市の地域療育センターに連絡してもらう事になりました。現在は、地域療育センターでの診療を受けながら、元気にすごしています。

※「ふれあい収集」：原則として一人暮らしでゴミ出しが困難な方を対象に、玄関先までゴミを取りにうかがうサービス

研修企画部会の活動

【全員研修会】

11月30日(土)

全民生委員・児童委員を対象に行う研修会ですが、区民の皆様にも参加していただきたいと金沢区が主催する「金沢区民のつどい」とコラボして行うことにいたしました。今年は東京オリンピック・パラリンピックの前年でもあり、大会を皆で盛り上げていこうと、スポーツがテーマです。

講演は、先天性の障がいを持ちながら、馬と一体となって競技する馬術でパラリンピックを目指す、若き青年をお願いいたしました。

スポーツの持つ楽しさ、偉大さ、皆の心を熱くし感動へと導くすばらしい力を共有できる、彼のお話に期待したいと思います。

【‘仲間と学びあう’ 活動課題別研修】

テーマ：高齢者

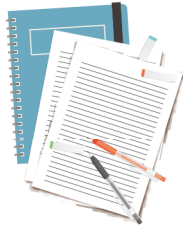
6月1日(土)

各地区から出席された委員一人ひとりが、高齢者問題として挙げられた3点から、委員自身の経験を含めて話し、聴き、課題解決に向けて模索していく。

誰もが話しやすいよう、6～7人のグループに分かれて話し合いました。

〈課題〉

- ・訪問時の課題や工夫
- ・高齢者夫婦へのかかわり方
- ・地域行事に参加してもらうためには



〈それぞれのテーマに共通する意見〉

- ・普段お会いしたときの親しげな挨拶が重要
- ・サロン・イベントなどに参加してもらえよう積極的に誘う
- ・訪ねるときは、何か物を持っていくと行きやすい

高齢者問題は、このほかにも課題はあります。また、問題を提起し、学ぶ場があると良いと思います。



主任児童委員の活動

「こども家庭支援センター

『さくらの木』について *金沢区の研修*

5月の金沢区主任児童委員連絡会において、副センター長 小林 真紀子氏、金沢区子ども家庭支援課ケースワーカー 中村 哲也氏による研修を行いました。

横浜型児童家庭支援センターは身近な相談機関として各区に設置、金沢区の「さくらの木」は古家を改装し家庭的な間取りの中、相談員、保育士、心理士が相談事業・養育家庭等支援事業・子育て短期支援事業・地域交流事業を行っています。一人ひとりに合ったケアで、手厚く温かい、



子どもに寄り添える場所だと再認識し、主任児童委員として協力していきたいと思います。

「子どもと家庭を取りまく問題きづく・つなげる・ささえる」

～主任児童委員に期待される関わり～ *横浜市の研修*

9月6日保土ヶ谷公会堂にて、子どもの虹情報研修センター相談室長 吉沢賢治氏の講義が行われ、次のようなお話がありました。

最近、毎日耳にする虐待のニュースに対して世間では「子どもが子どもを育てている。自分の子どもを虐待するなんて信じられない。今の社会が悪い。」との声があがっている。虐待をしてきた人にとって“虐待とは自分で前髪を切る感覚に似ている”少しずつ切っていくうちに髪になり、もっと前にやめておけばよかったと後悔してしまうようだ。主任児童委員の皆さんは、正しい人より、話したくなる人になってほしい。地域で見守る際はまさかという否定的な感情は捨て、「見方」を変えれば「見え方」が変わる。安心して子育てできると、子どもは安心して大きくなれる。

先生のお話を聞き、私たちも地域で出来る事ががんばっていきたいと思いました。

「かなざわっこ中学生ボランティア」の活動

10月20日、海の公園にて「金沢まつり・いきいきフェスタ」が開催されました。

区内の中学生ボランティア46名が参加し、チャリティー縁日(こどもの遊び場・模擬店)で活動して得られた収益金57,876円は、ユニセフに寄付しました。



富岡第一地区

「地域食堂」始めました～みんなの顔が見える街～



令和元年6月より地域食堂「お元気だれでも食堂」を開設しています。

手作りカレーとイベントを提供し、同時に、麻雀・囲碁・オセロ・ダーツ・トランプ等で遊べるゲーム会場も併設しています。「カレーおいしいね」「ゲーム楽しかったね」の声が聞ける異世代交流の場です。民生委員・児童委員は、地区町内会自治会の会長・ボランティアと共に運営にあたっています。

この活動を通して「みんなの顔が見える街づくり」の一翼を担えたらと思っています。

富岡第三地区

「サ高住」施設見学で学ぶ

最近耳にする「サービス付き高齢者向け住宅」は「介護付き有料老人ホーム」とどこが違うのか？そんな疑問を抱いて「けいすい one's ホームしおさい」を訪問しました。

施設職員の方の熱意に満ちた説明を受け、多数の素朴な質問に答えていただき、居室や浴室などの設備を見学しました。

一人ひとりが居心地の良い環境を見つけるには？自分たちの未来も含めて想像を膨らませる時間となり、解けない課題について考えさせられました。



富岡第二地区

「配食」心を入れて手作りのお弁当

ひとり暮らしの高齢者の方に、年3回お弁当をお届けしています。毎回130食程を民生委員とボランティアで調理します。数ヶ月前からメニューを決めて、前日は買い出し、当日は朝から調理、午後から盛り付けをして夕食に間に合うようにお届けします。

顔を合わせてお弁当を手渡しする時、「楽しみにしていました」「いつも美味しいお弁当をありがとうございます」と嬉しい言葉を頂きます。これからも、



笑顔と元気をお届け出来る活動に励んでいきたいと思っています。

富岡西・能見台地区

「けんこう体操」



移動機能低下、筋力低下予防などの口コモ予防を中心としたけんこう体操を金沢スポーツセンター宮城先生の指導により、

多くの方の参加を得て能見台地域ケアプラザで行いました。当日はストレッチから始まりセラバンドを使い、腕・肩・体幹編・大腿部編のトレーニングメニューを先生の楽しい話術を交えながら有意義な時間を過ごすことができました。皆様がこの地域で自分らしく楽しく過ごしたい「いつまでも元気に歩きたい」との強い思いをあらためて感じることができました。

この思いを大切にこれからも「けんこう体操」を続けていければと思います。

広告

能見台地区

みんなで楽しい「山ざくら会」

地域の人たち同士の親睦を深めたい思いから、地域の有志や民生委員・児童委員とともに、試行錯誤で始まった能見台二丁目地区の「山ざくら会」。



この一年で、健康体操や健康麻雀をはじめ、横須賀軍港めぐり、フラワーアレンジメント教室、コンサート、手づくり餃子の会などが開催できました。

シニア世代だけではなく、若い人たちにも声をかけ、活気あふれる多世代交流の場となっています。

活動は2年目に入り、ますます地域がつながっていけるように、これからもみんなで作り上げていきます！

金沢シーサイドタウン地区

「サマーフェスタの夜店出店」

連合自治会の夏まつり（サマーフェスタ）は、台風のために2日間のうち1日だけになってしまいましたが、大勢の方が参加してにぎやかでした。飲み物の他、枝豆、フランクフルトソーセージ、玉こんにゃくを販売しました。さらに雑貨として、寄付で集まった品物と手作りの小物達がお店を飾りました。

この事業では地域の行事を盛り上げるだけでなく、“民生委員・児童委員でこのような人たちがやっているんだ”と地域のみなさまに認識していただく機会でもあります。



金沢東部地区

みんなが支えあって暮らせるまち

様々な障害のある人が、日常生活で困っている時に手助けするにはどの様にしたらよいか、障害の勉強会・障害のある子どもさんの親とご本人の体験談などを学んできましたが、今回は施設見学で「共働舎」と「はたらき本舗」に行きました。

ここは知的障害のある人が、陶器の作製・花苗の生産、パンの製造、そして販売の部門で働いています。どんな人でも長所がある、その長所を取り入れて各部門に配置されています。ここで働く人達は自分自身が認められ、満足のいく仕事ができましたが、重視されます。施設を出る時には、握手をして、手を振って別れてきました。みんなが支えあって暮らしているな、と実感しました。



金沢中部地区

「県立金沢養護学校を見学」

7月5日（今年度の事業計画の一つとして）東富岡にある金沢養護学校を訪問しました。（肢体不自由教育部門と知的障害教育部門を併置した特別支援学校です）

小学生から高校生まで約300名の生徒が在籍しています。

校舎に入ると教職員、生徒から大きな声で挨拶され元気をもらいました。小学生は少人数クラスで手厚い指導を受け、中学生は就労に向けての実践的な授業、実習等を行っていました。生徒一人一人が一生懸命学習している姿を見学することができ、有意義な一日でした。



広告

金沢南部地区

子育て支援「シーエンジェル」

平成10年、養育者の意見を当時の主任児童委員がとりいれ、第一回子育てセミナーが開催されました。その事業は、現在「シーエンジェル」の愛称で親しまれています。子育て世代を実行委員に巻き込むことで、今風の子育てを地域に浸透させています。子育てセミナー・支援者研修・シーエンジェルキッズの活動や、毎週金曜日に行われる地域のひろばなど縦横斜めの関係作りと多種多様な情報交換の機会を作ることによって“孤立しがちな子育て



中の親子の不安や悩みを和らげよう”という思いで活動しています。ご近所への小さな声掛けが大きな輪になって、健やかな子育てに繋がっています。

金沢地区

「みんなでカレー」

金沢地区では、6月5日に「カレー会食」が行われました。

16名の民生委員・児童委員が、料理・会場設営を分担しサラダ・デザート・漬物もご用意しました。「オレオレ詐欺」のDVDを見ながら、金沢警察署員から新しい手口の情報を聞き、質疑応答も行われました。副区長や泥亀地域包括支援センターの方も一緒に、62名の皆さんで楽しくお話ししながらカレーをいただきました。

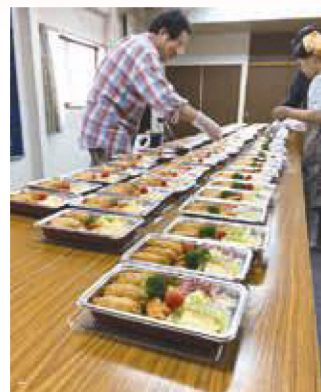
「本当に美味しい」「皆で食べたのが嬉しかった」等の感想に、来年も楽しいひと時をお約束しました。



六浦東地区

地域の見守り「手作り弁当」

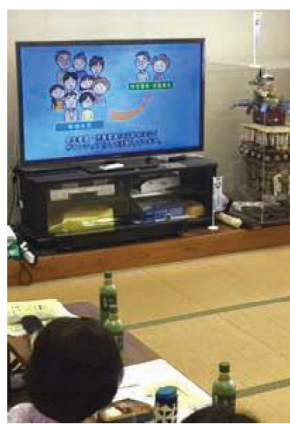
瀬ヶ崎西部地区では、高齢者の家庭を地域みんなで見守りをしていく手段の一つとして「手作り弁当」の配達を行っています。今回は民生委員を中心に活動ボランティアを募り、全17名で100個のお弁当を作り、各家庭にお届けしました。少ない予算内でのお弁当作りは大変ですが、それでも地域みんなが高齢者家庭一人一人と顔を合わせ、声をかけ合うことにより、近所の顔見知りも増え、これが何よりの地域の見守り活動となっています。



六浦地区

「民生委員・児童委員の魅力を伝える」研修

改選の年を迎えて、次年度もまた新しい仲間を迎えたい・そこであらためて民生委員・児童委員の仕事を確認し、地区での推薦活動に役立てるために、5月15日の定例会で100周年記念の民生委員・児童委員の活動紹介DVDを見ました。



ご近所づきあいが難しくなってきたと言われる昨今、地域の人々と福祉のつなぎ役はますます大切になってきていると感じます。そんな大切な役割を担う民生委員・児童委員の魅力をどのように伝えたらよいかなどを話し合いました。

広告

六浦西第一地区

山本助産院と「たんぽぽ」訪問

5月30日、六浦にある山本助産院を訪問しました。まず、親と子のつどいの広場「たんぽぽ」を見学。ここにはいつも助産師がいるため、お産のこと、育児のこと、何でも気軽に相談が出来ます。診察や入院・分娩の部屋などを見せていただいたあと、山本助産院で手がける妊娠期支援～産後ケア、育児支援に至る様々な事業の説明を受けました。一人で困っているお母さんが声を上げ、それを受け止める重要性を知り、身近にこのような施設やサービスがあることを伝える大切さを感じました。



六浦西第三地区

高齢者の食事について考えました

先日、介護付き有料老人ホームを訪問し、管理栄養士の方から高齢者の食生活についてお話を伺いました。以前は「身体への負担を考えて、体重を増やさない食事」が主流でしたが、今は「必要な栄養素をしっかりと摂取する食事」が大切であるという考えに変わってきているそうです。同じメニューでも噛む力に合わせて硬さを変えて、食べやすく、おいしく栄養が摂取できるように工夫されていて、実際に通常食とソフト食を試食しましたが味はほとんど変わりませんでした。見守り活動の中でも、食事についてお話できればと思います。



六浦西第二地区

富岡サロン「ジュピのえんがわ」訪問



東富岡バス停近くにある、サロンと駄菓子店を一体化した異世代交流サロンを訪問しました。

開設3周年を迎えたそのサロンは、子供と大人と一緒に過ごしなが

ら、自然に雑談できる場所でした。

サロンでは、孤独感を改善し、温かいコミュニティのある地域社会を目指しており、毎月発行の「えんがわ通信」では、食事会や紙芝居、各種教室等のイベント情報を発信。いきいきとした「幸せづくり」を学ぶことができ、これからの「共に支え合う地域づくり」に生かしていきたいと思えます。

釜利谷地区

湘南地区児童福祉施設訪問

8月末、二か所の児童福祉施設を訪問しました。大磯の「エリザベスサンダースホーム」は学校併設の児童養護施設で、澤田美喜氏が戦争孤児を救済する乳児院として創設しました。

平塚の県立子ども自立生活支援センター「きらり」は敷地内に乳児院・障害児入所施設・心理治療施設と分校を配置。障害、虐待など多様な課題を持つ子どもに心理・医療等の専門的支援を切れ目

なく行う一体型施設です。

両施設が現在の社会で果たす役割の大きさに心を打たれました。



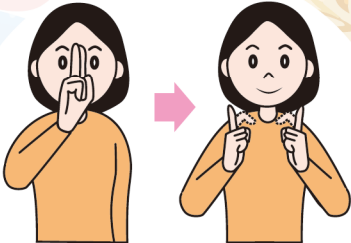
広告

共に生きる社会に

広げよう豊かなコミュニケーションを…

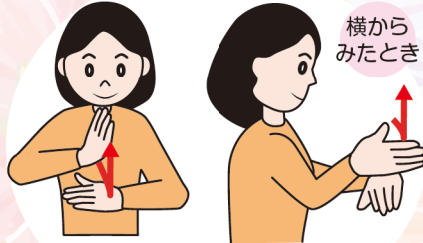
手話は聴覚障害者にとって大切なことばです。手話を通じてコミュニケーションの幅を広げてみましょう。一例ですが、ご紹介します。他にも筆談、身振り、絵やイラストもコミュニケーションの1つです。

こんにちは！



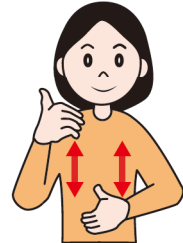
右手の人差し指と中指を立て、人差し指側をひたいにあてる。

ありがとう！



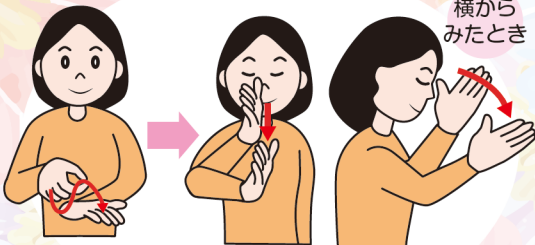
右手を垂直に立て、小指側で左手の甲をトンとたたく。

楽しい！



わん曲した両手を折り曲げ、親指以外の指の指先を胸に向け、交互に上下に動かす。

筆談をお願いします。



筆談
左の手のひらの上で、右手でペンを持って何かを書くように動かす。

お願いします
右手を顔の前に垂直に立て、頭を軽く下げながら斜め下に出す。

逃げて!!



両手でこぶしを作って、同時に斜め上に上げる。

あぶない!!



両手の指を軽く曲げて、2回胸にあてる。右手だけをわん曲させて胸にあててもよい。

参考資料「手話を学んでみよう！」神奈川県福祉子どもみらい局福祉部地域福祉課 発行

令和元年度「全員協議会」開催 5月15日

5月15日、新装なった金沢公会堂にて219名の民生委員・児童委員、主任児童委員が出席し開催されました。各事案の審議後、防災講演会が行われました。金沢消防署の酒井 直樹氏、菊田 潤也氏による講演、そして横浜市消防音楽隊、ポートエンジェルス of 素晴らしい演奏・カラーガード演技があり、令和元年に相応しい全員協議会・全員研修会となりました。



金沢まつり いきいきフェスタ 10月20日

民児協広報・啓発の一環として、今年も「コーヒーコーナー」と「チャリティー縁日・こどもの遊び場」を出店しました。来場者が広い会場を巡ったのち、ひと休みする場としての役割も果たしています。

令和元年度街頭募金実績

343,338円

10月1日に、16地区の民生委員・児童委員の活動により、集まった募金総額です。皆さま、ありがとうございました。

編集委員

岡田須美子 齊藤 洋子 栗原 捷子 長尾 理香
 岡田真理子 關野 恵子 神田 妙子 加藤 律子
 岩田 幸子 黒田 矩敬 佐野 国弘 丸山 正樹
 立松 成子 深津早百合 篠田 美香 後藤 和行
 城戸 光男 水谷多美恵 山口 恵子 杉浦 千鶴

編集後記

「民児協だより55号」はいかがだったでしょうか。日頃の私達の活動「うけとめてつなぐ」の活動を皆様にお伝え出来るよう、広報編集部員一同が心を込めて編集致しました。最終頁の「共に生きる社会に」では、一例ですが手話を掲載しました。聴覚障害の方とのコミュニケーションを広げるきっかけになれば幸いです。今年は、3年に1度の民生委員・児童委員の一斉改選が行われました。新たなメンバーも加わり、これからも地域福祉活動に取り組んで参ります。

*この広報誌は、共同募金配分金から一部助成を受けて作成されています。